ウスの大 補正予算」などの市長提出議案6件を、議長 第1回臨時会では、「平成26年度一般会計 被害

を除く 副議長が新たに選出されました。 おり可決・承認・同意しました。また、議長・ 21人の議員で採決の結果、原案のと

専決処分とは、議会の 議決が必要な事項で がない場合などに限

議会を招集する時間 り市長自らが決める ことで、議会の承認を 求める必要がある。

「子ども・議会体験プログラ を迎えるにあたり、今年は

ム」を計画しており、子ども

議長・副議長 いさつ

第61代議長に就任いたしま また、埼玉県市議会議長会 いう記念すべき節目となり、 した。今年は、市制の周年と 議員各位のご推挙を賜り、

合わせて努力して参ります

議長、副議長ともども力を

ればと考えております。 の場」の体験をしていただけ たちに「議会の仕組みや議場

ので、よろしくお願い

します。

田村秀二議長、加賀谷勉副議長

長経験を生か

し、市民福祉

まる年になります。前回の議 会の副会長市として、多忙極 として、さらに同市議会議長

第2区議長会(11市)の会長市

(2)

取り組む決意です。

市制と同時に議会も60年

の向上と市制発展に全力で

国民健康保険税条例

主な議案審議

スが14件で7655㎡、鉄への補助金で、パイプハウへかが出ります。

25年度一般会計補正予算

6

骨ハウスが8件で1万41

置の対象を拡大するもの国民健康保険税の軽減措 《賛成総員で原案承認》

の影響は。 例として、3人世帯

の補助金など(25年度) 大雪被害に遭われた方へ

A 世帯が軽減の対象となる。 万5999円までとなり、 象だったが、改正後は177 47万円までの世帯が対 これまで、給与収入が 16世帯増の2460

A 3月24日に災害指定な費補助金の対象と内容は。

3月24日に災害指定さ

災害等廃棄物処理事業

の補助金(26年度)大雪被害に遭われた方へ

26年度一般会計補正予算

《賛成総員で承認》

その他の議案

手話言語法(仮称)制定を 求める意見書を採択!

様に、大切な情報獲得とコミュニケ

ーションの手段として大切に守られ てきました。しかし、ろう学校では

手話は禁止され、社会では手話を使

うことで差別されてきた長い歴史が

そこで、手話で学べ、自由に手話が 使え、さらには手話を言語として普

及、研究することのできる環境を整 えるための法整備を国として実現す

ることが必要であると考え、全会-致で可決し、意見書を提出しました。

承認(専決処分)◆税条例 ◆25年度介護保険特別会計 **《いず** れも原案承認•同意》

手話は、手話を 使うろう者にとっ

ちの音声言語と同

ありました。

こえる人た

補正予算 同意◆監査委員の選任

用ハウスや畜舎などの施設 急的な対策を実施する農業

市内での被害の様子

A

大雪の農業被害で、緊

のような内容か。

体育成条件整備事業は、ど 被害農業者向けの経営

(賛成総員で原案可決)

する事業。

て、国・県・市で連携し助成 の再建、修繕と撤去につい

魅力 アある 博物 館

362

提出されました。議長を除く21人の議員での採決を求める意見書」が文教厚生委員会から、それぞれ10議案が市長から、また、「手話言語法(仮称)制定 の結果、すべて原案のとおり同意・可決しました。 今定例会では、「博物館条例の一部改正」などの

A

主な議案審議

◆博物館条例の一部改正

指定

A ことのメリットは。 市が資料の収集を行う

料金制度を導入するものめ指定管理者制度と利用博物館の効率的運営のた

究に至る業務の充実が図ら まると考える。 では市民からの信頼性が高 れるほか、資料の寄贈など

資料の収集や調査研究

《賛成総員で原案可決》

◆市税条例等の一部改正

軽自動車税税率改定など

度見込んでいるのか。 今回、直接の影響額と

議案質疑

集や調査研究は市が行う。 などはどちらが行うのか。 制度導入後も、資料の収

資料の収集から調査研

法人市民税の法人税割と

《賛成多数(17名)で原案可決 市税への影響はどの程

定例会のポイント

指定管理者制度

指定管理者制度は、公共施

設に民間の持つ経営ノウハウ

を活用し市民サービスの向上

を図り、施設の設置目的を効

果的に達成するために設けら

れた制度で、狭山市では、総合 体育館や智光山公園、こども 動物園、児童館など多くの施

設で導入しています。

度に約1億円、28年度は約1億円、28年度から約1万5千台で約1千から約1万5千台で約1千から約1万5千台で約1千から約1万5千台で約1千 込んでいる。 で約190万円の増額を見

◆26年度一般会計補正予算 - ポン券の対象者や送付成人保健事業費の無料 《賛成総員で原案可決》

は付し、受診は、子宮頸がんの未受診者を対象にの未受診者を対象には、子宮頸がんの未受診者を対象には、40人、乳がん検診は40歳 ■ 子宮頸がん検診は、21 年度から4年度当時、20歳か の55歳に、こうこう は500人、乳がんが3 0人を見込んでいる。 ら35歳までの方で1万25 子宮頸がん検診は、

 \emptyset 復旧時期は。 西口にある、公衆ト 工事着手が10月以降にな 調査設計業務を行う 火災にあった狭山市 イ ν の駅

狭山市駅西口の男子ト



予定。なお、支障のない範囲 で暫定利用をする。 り、全面復旧は本年度末を

委員会提出議案

人数、受診見込みは。

求める意見書(第2号)◆手話言語法(仮称)制定を

人権擁護委員候補者の推薦同意◆教育委員の任命 ◆《いずれも原案同意•可決》 提出委員会文教厚生委員会 (意見書の要旨は2ダー参照) その他の議案 《賛成総員で原案可決》

市道路線の認定(2議案) 職報償金の支給に関する条 ◆非常勤消防団員に係る退 可決◆国民健康保険税条例 ◆市道路線の廃止

(3)